



はじめに

俳句を始めた私が、心太俳諧通信の掲示板にお邪魔するようになって3ヶ月ほどたった頃です。

私はいくつかの句の批評を心太さんをお願いしていました。その中に酔仙翁（スイセンノウ）の句。心太さんは、「酔仙翁とはどんな花か」と。でインターネット上の写真を引用いたしました。

すると、心太さんは

スイセンノウ ふと悪意が

と詠まれ、私に「花を選んでください。皆で句を寄せましょう。」と提案してくださいました。

二〇〇一年七月、第一回花寄せは「百日紅」でした。

毎回、花には、簡単な説明とわかりやすい写真をネット上から引用させていただきました。

みなさまの投稿により、私は、花の旬をさまざまな視点で感じる事ができ、花を選ぶ喜びからか、句への意欲も増していきました。

二〇〇二年七月に花寄せは季節をめぐる事ができました。

連載中にオジャラさんが絵を添えた「花寄せ」をつくってくださいました。

温かいオジャラさんの花、親しみやすくデザインされた句に、胸がいつぱいになってしまいました。

そしてそれが電子出版されます。

心太さん、心太俳諧通信に集う皆様、そして花の説明や写真を引用させていただいた花を愛する皆様のおかげです。

ありがとうございました。

二〇〇二年秋 TARA

「花寄せ」に寄せて

監修などと仰々しい名前をいただいたが、私のしたことは、心太俳諧通信の掲示板の提供だけ。
掲示板での「花寄せ」は「ARVA」さんが、がんばってくれたし、電子出版にあつたつてはオジヤラさんががんばってくれた。

私は句に添削も批評もしなかった。

まさに「花寄せ」寄せ書きだった。

この試みが自由律俳句に親しんでいただくための糸口になれば幸いです。

二〇〇二年秋 笹心太

【第一部】

- 第一回 百日紅
- 第二回 鳳仙花
- 第三回 ランタナ
- 第四回 吾亦紅
- 第五回 カンナ
- 第六回 待宵草
- 第七回 桔梗
- 第八回 ダツラ
- 第九回 水引
- 第十回 彼岸花
- おまけ 月づくし

【第二部】

- 第十一回 金木犀
- 第十二回 コスモス
- 第十三回 白粉花
- 第十四回 烏兜
- 第十五回 紫式部
- 第十六回 菊
- 第十七回 狗尾草
- 第十八回 山茶花
- 第十九回 椿
- 第二十回 つわぶき
- おまけ 鬼づくし

【第三部】

- 第二十一回 葉牡丹
- 第二十二回 蠟梅
- 第二十三回 冬薔薇
- 第二十四回 水仙
- 第二十五回 シクラメン
- 第二十六回 シンビジウム
- 第二十七回 梅
- 第二十八回 沈丁花
- 第二十九回 ミモザ
- 第三十回 木蓮・辛夷

【第四部】

- 第三十一回 馬酔木
- 第三十二回 雪柳
- 第三十三回 いぬふぐり
- 第三十四回 柑
- 第三十五回 チューリップ
- 第三十六回 諸葛菜
- 第三十七回 藤
- 第三十八回 ツツジ
- 第三十九回 スイートピー
- 第四十回 芍薬

【第五部】

第四十一回	山法師
第四十二回	あやめ
第四十三回	紫陽花
第四十四回	梔子
第四十五回	鉄線
第四十六回	立葵
第四十七回	凌霄花
第四十八回	石榴
第四十九回	百合
第五十回	向日葵



花寄せ 第一部



サルスベリ (百日紅)
ミソハギ科
学名: *Lagerstroemia indica*
花期: 夏

花寄せ第一回

百日紅

百日紅川は海まで青い旅
百日紅の花がこぼれる

暁兵

私だけになつた戸籍謄本

心太

あぶなげにたわわなりけり百日紅

暁兵

蒼穹をいよよ深めて百日紅

登美子

あきらめねば 百日紅揺れる

心太

弘法が川に流れて猿滑

はぎ

百日紅ビッグバン

はぎ

盥持て花を待ちぬる猿滑

はぎ

さんざめく百日紅の影に登る

はぎ

百日紅影を踏む

はぎ

乾かす涙 百日紅たわむ

TARA

さひてもさひても ひやくにちべに

オジャラ



花寄せ第二回

鳳仙花

和名：ホウセンカ（鳳仙花）
ツリフネソウ科
学名：Impatiens balsamina
花期：夏
別名：爪紅（つまべに、つまぐれない）
英語名：touch me not
（果実に触ると種子が弾けることから）
膝丈くらいのもので、赤・白・紫・ピンクなどの色があります。

浴衣の恥ずかしさ 鳳仙花なんて

TARA

犬連れの立ち話なり鳳仙花

暁兵

来世はシンデレラハネムーン 鳳仙花

心太

溺愛に立ち枯れる鳳仙花

はぎ

鳳仙花はじけてシャボンの吐息

はぎ

首筋に残る爪跡鳳仙花

暁兵

休むこと知らぬ母なり鳳仙花

登美子

はじけ飛ぶ思い出幼き鳳仙花

登美子

鳳仙花幼馴染の母となり

心太

ゆめ はじけて ほうせんか

オジヤラ

ランタナ クマツヅラ科
学名・Lantana camala
別名・シチヘンゲ（七変化）、
コウオウカ（紅黄花）
花期：夏・秋
樹高0.5-2mほどの常緑低木。
熱帯アメリカ原産。
花は咲いてから時間が経つに
連れて黄色からだいたい色、
赤へと色が変わります。

花寄せ第三回

ランタナ

ランタナの月光浴 髪濡らす白い TARA

ランタナ 悪戯好きなおっかば頭 心太

ランタナヤソファアの女は黒づくめ 暁兵

相変わらずランタナ はぎ

白地に赤く日の丸紅黄花 はぎ

七変化になりたい紫陽花が青い はぎ

朝帰りランタナの葉に深き皺 はぎ

太陽に恋してランタナ七変化 登美子

ランタナや乙女ら走る頬紅く 登美子





花寄せ第四回

吾亦紅

ワシモコウ(吾亦紅・吾木香)
バラ科 花期・秋
学名・Sanguisorba officinalis
秋の草花の項に出ていることが多いが、山などでは8月上旬から咲き始めている。花弁はなく、赤紫のは薺です。

さがしものを捜す 吾亦紅

T A R A

まだ捜し物ワシモコウ

はぎ

避暑の孤峰群生の吾亦紅

はぎ

吾木香その強き根を煎じたり

はぎ

わが染めし紅を纏いて吾亦紅

登美子

さがしもの さぐりもの われもこつ

T A R A

隠れては淋しくてまた吾亦紅

登美子

吾亦紅 意地は張らねば

心太

さすらへば われもこつ

オジャラ

バランスということもあり吾亦紅

暁兵

索引の尻に控えて吾亦紅

氷心

枯れてなお色めいて吾亦紅

紫苑



花寄せ第五回

カンナ

踏み切りのカンナ	背を向く人	T A R A
踏み切りは開かない	赤いカンナ	心太
素足	二本で歩けば花カンナ	はぎ
黄のカンナのべつ幕無しやさ男		はぎ
どうしても眩しきばかり花カンナ		暁兵
貴方ついて来れて?カンナは火の鳥		登美子
赤いかなで包んでみる	悲しみ	心太
黒髪カンナを今日も		氷心
カンナばかり	白い雲見上げる	はぎ
カンナカンナ	ナイタラアカン	オジヤラ

カンナ
学名：Canna generalis
別名：花かなな
花期：7月-9月
夏に赤、朱、黄色の花をつけます。葉が非常に大きく、背はとも大きくなり1mから2m近くになります。



花寄せ第六回

待宵草

マツコイグサ (待宵草)
アカバナ科
学名: *Oenothera stricta*
花期: 5月、9月
別名 宵待草
(よいまちぐさ)
月見草 (つきみ草)

待宵草 刻一刻の朝の露

T A R A

月見草水玉模様が駆けていく

暁兵

離れの病棟 月見草の道

心太

不寝の番待宵草を独り占め

氷心

来タラズ 待宵草ヒトツ

オジヤラ

刻限はかぎりい立つまで月見草

登美子

夜明け待つ身一つ月見草

はぎ

父母はまだ 待宵草開く

こだま

寒がるう待宵草 眠がるう寝床

はぎ

月見草もおぼる月

オジヤラ

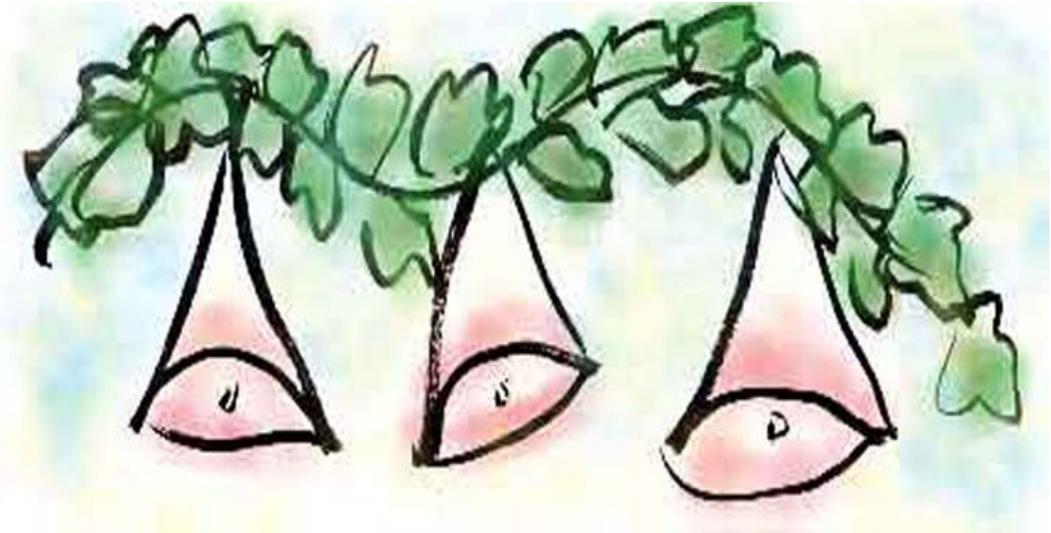


花寄せ第七回

桔梗

ごほうびに桔梗の青にしてみよう	T A R A
桔梗咲く少しきつめにバンダナを	暁兵
四つに折るおおらかさかな花桔梗	はぎ
桔梗やきをつけやすめかしらみぎ	氷心
もう退けぬ 桔梗の旗頭	心太
キキヨウ揺しテモ 帰ラズ	オジヤラ
露の白刃 桔梗三尺釜の風呂	はぎ
拗ねてみせ乙女子が摘む白桔梗	登美子
桔梗(きちこう) や髪一筋も乱れなく	登美子

キキヨウ (桔梗)
キキヨウ科
学名:
Platyodon grandiflorum
別名・オカトキ(岡とつき)
花期：7月 9月秋
桔梗は秋の七草ですが、6月
下旬からみられます。
白や八重もあります。



花寄せ第八回

ダツラ

ダツラ チョウセンアサガオ属
 学名 *Datura suaveolens*.
 別名 ダチユラ チョウセンアサガオ エンゼルトランペット 曼陀羅華(マンダラゲ) 東南アジア原産のナス科の帰化植物。夏から初秋にかけて、トランペットのような大型の花が垂れ下がって咲きます。白・黄色・ピンクなど、多くの園芸品種があります。上向きに大型の朝顔のような白い花をつける種類もあります。
 有毒なので、決して食べないように。
 江戸時代の蘭学医・華岡清洲が1807年にこの植物から得た麻酔薬で外科手術をしたことで有名です。田中一村が好んで描いた奄美大島の植物のひとつです。

君ほどのダチユラの重み 終わる夏 T A R A

医の祈り慎ましやかに曼陀羅華 はぎ

巻き戻りはしない朝鮮朝顔 はぎ

上を向くダツラ 飾るばかり はぎ

さよならは大きな声で曼陀羅華 暁兵

曼陀羅華 明石の港の裏通り 心太

ダチユラノ夜宴 決意秘メテ オジヤラ



花寄せ第九回

水引

ミズヒキ(水引) タデ科
 学名: Polygonum filiforme
 花期: 8月?~10月
 草丈: 40-80cm
 別名 ケタデ、ミズヒキソウ、ミズヒキグサ
 罌斗などに懸ける紅白の水引が名前の由来です。上から見ると赤、下から見ると白というわけです。
 白花のものをキンミズヒキ(銀水引)と言います。
 日陰を好み、林の下生えに見られます。似た名前にキンミズヒキ(金水引)がありますが、こちらはバラ科で別の仲間です。

水引草 珈琲店の湯わく音

T A R A

トラクター 毒子を乗せて水引草

暁兵

アメリカの正義とか 水引たわめる

心太

鉄持て開かぬ観音銀水引

はぎ

徒然に水引草の待つ炎

はぎ

辛くもなく縛られて水引

はぎ

アスファルト割りても 水引の赤ひ恋

オジヤラ

水引の小さき紅や片思い

こだま



花寄せ第十回

彼岸花

彼岸花 焦燥に歩かされている

TARA

彼岸花群れ咲く処花も咲く

はぎ

曼珠沙華迷路のような墓地にいて

暁兵

何かが起こりそうな小経だったね 曼珠沙華 心太

曼珠沙華生涯逢わぬと決めたひと 登美子

迷い込む夢 彼岸花巡る こだま

この心吸い尽くされて 曼珠沙華 兎角

傘も無く一人曼珠沙華 兎角

彼岸花夕暮れ野辺の道案内 こだま

ヒガンバナ (彼岸花)
ヒガンバナ科
学名: *Lycoris radiata* var.
radiata
別名: 曼珠沙華 (マンジュシヤゲ)
花期: 9月、10月
人里に近いところに群生し、秋の
彼岸頃、俄かに葉のない茎がすつ
と伸びて、真っ赤な花を咲かせま
す。地下茎は有毒。
死人花 (シニビトバナ) 天涯花 (テ
ンガイバナ) 幽霊花 (コウレイバ
ナ) 捨子花 (ステゴバナ) 葉見ず
花見ず (ハミズバナミズ) ……な
ど、地方名は500以上

月づつ

五六本月のことなど言い言いて

氷心

よき月と茶で膨るる宿直(このい)かな

心太

何日の月やら海峡の上

心太

蛸の夢原人の夢けふの月

氷心

つきづきのつきおのつきつつきおのつきつ

つきづきつきつきつきつきつきつきつき

はぎ

月見る夜は暮れもせず明けもせず

はぎ

独り吞むぬる爛の酒居待月

暁兵

淡き下弦に明けのおやすみ

氷心

名月を請うて雲間の千鳥足

はぎ

十六夜やぺると舌出し笑むあの眼

兎角

名月の一人舞台となりにけり

登美子

お月様 機嫌をそこねた理由(わけ)は

忘れてしまった

TARA

月もアタシを見てゐる

オジャラ

少し涼しさ感じて見上げりゃ欠けた月

兎角





花寄せ 第二部



花寄せ第十一回

金木犀

心配しないで	金木犀の香りにいます	TARA
おしゃべり上の空	金木犀見上げる	こだま
いつが見た君の笑顔に銀木犀		兎角
ただいまを言う前に吸う金木犀		兎角
匂っぱかりの木犀にすり抜ける木霊		兎角
金木犀サッカーボールに子ら興ず		暁兵
銀木犀男の涙を垣間見る		登美子
待つばかり	金木犀の散る所	TARA
金木犀今年も咲かず		オジャラ
点滴	金木犀の匂いが	心太

キンモクセイ(金木犀)

モクセイ科

学名: Osmanthus

fragrans var. aurantiacus

常緑高木で、公園や庭によく
植えられている。枝葉はよく繁り、
雌雄異株。

九月から十月、橙黄色の小さな
花が多散束生して、
強い芳香を漂わせる。



花寄せ第十二回

コスモス

秋栴 遊戯を許す人のいて

T A R A

空爆という選択 コスモス揺れる

心太

コスモスにこめる青く清い祈り

兎角

コスモスの道蝶に案内されてゐる

オジヤラ

アフガンにコスモスや咲く

宇宙と言う名の可憐な花は

心太

コスモスや嫌なら嫌と言いなさい

暁兵

コスモス
キク科
学名：
Cosmos
dipinatus
別名：アキザクラ、
しゅうおう（秋栴）、
オオハルシヤギク
（大ハルシヤ菊）
花期：秋
熱帯アメリカ原産
英語名 cosmos
宇宙のこと。
黄色い花のつくのは
キバナコスモス
（黄花コスモス）
です



花寄せ第十二回

白粉花

オシロイバナ (白粉花)
 オシロイバナ科
 学名: *Mirabilis jalapa*
 別名: ヲウゲシヨウ (夕化粧)
 花期: 夏 秋
 この花の実は 5 ミリくらいのも
 黒い実、皮を取ると白い粉のような
 胚乳が入っている。
 英名はフオー・オクロックと言ひ、
 夏は夕刻になると開花し、
 芳香を放ちます。
 秋になると、日中も開花しています。
 太い株になる多年草。色は、赤、白、
 ピンク、黄色、そして絞り
 などがあります。

白粉花 父の葬儀にきてた女性 (ひと) TARA

夕化粧明るさ残る帰宅かな 暁兵

おしろい花でのの字を書いて 心太

茶封筒白粉花が泣いている 兎角

看板遠く夕化粧 兎角

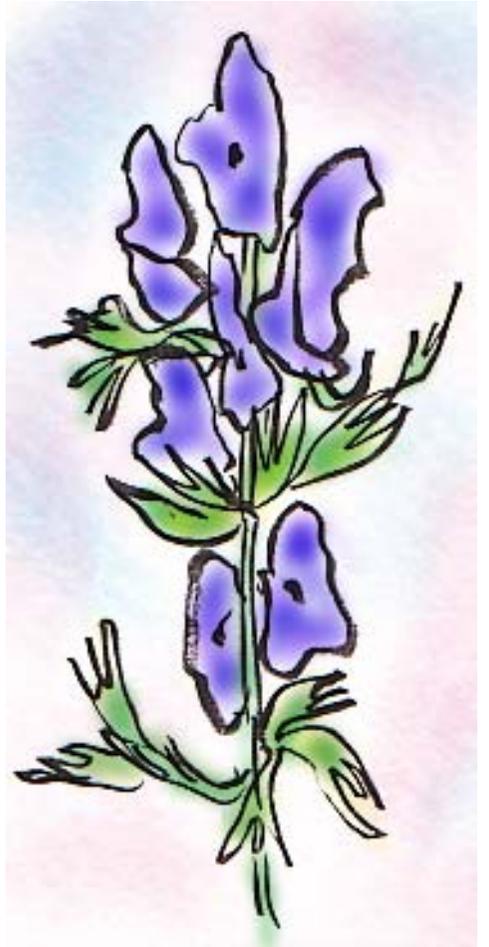
虚実の境 白粉花 兎角

白粉花の悩み オジヤラの悩み オジヤラ

おしろいばなへ、種をありがとう オジヤラ

オシロイバナの夕ネを集める 逢魔時 心太

たねいっぱい おしろいばな 兎角



花寄せ第十四回

鳥兜

トリカブト (鳥兜) キンポウゲ科
学名: *Aconitum*
別名: 烏頭 (うず・とりかぶと)
兜花 (かぶとばな)
花期: 九月 十月
根に猛毒を持っています。
日陰が好きで乾燥を嫌います。

首あげてギリギリに立つ 鳥兜

T A R A

金髪のウィンクは二度鳥兜

暁兵

米一粒の重み 鳥兜

兎角

鳥兜いらんかえ 君からなら買おう

兎角

日溜まりに鳥兜が咲いている

兎角

テーブルにトリカブトの花

紅茶を囁っている

心太

トリカブトに微笑んでゐる

オジヤラ

ころえきて青を雪崩るる鳥兜

T A R A



ムラサキシキブ (紫式部)
 クマツヅク科
 学名: Callicarpa japonica
 別名: 小紫 (コムラサキ)、
 実紫 (ミムラサキ)、
 小式部 (コシキブ)
 英名 Japanese beauty -
 berry
 山野に生える落葉低木。
 夏の花は、小さく目立たずま
 せんが、10月 11月に美
 しい紫色の果実をつけるの
 で、庭などによく植えられる
 ます。

花寄せ第十五回

紫式部

実むらさき 昨日の雨は忘れたの

TARA

人気絶頂総理の秘策 小紫

兎角

神楽坂 紫式部小紫

兎角

狐の嫁入り 根断ちの実紫

兎角

小紫俺の脳味噌に枝あるか

暁兵

光の君に恋をするほかない

紫式部であつたよ

オジヤラ



花寄せ第十六回

菊

キク(菊) キク科
 学名: Chrysanthemum
 栽培キクは、原種の交配と淘汰(とつた)によつてできた園芸植物で多年草。
 花色、花形、草姿、名前、実に多彩である。ここでは、「野菊」も含めてお寄せください。
 特別な品種でも結構です。その場合は、写真画像のアドレスを表記していただけると、嬉しいです。
 「菊花展」「菊人形」「菊供養」など、
 どんな言葉でも、どうぞ。

夜がきて糸菊そつと咳をする

T A R A

あなたが菊を手折る音には惑いがない

T A R A

菊人形飛行機雲は一直線

暁兵

枯れ野菊一徹啜る茶の渋み

兎角

菊一輪父の背中の汗の痕

兎角

咲かせてみようか紙風雪

兎角

鈍色の残菊一叢染野(しめ)の道

心太

秋も菊のおひたしもない食卓

オジヤラ

怒らぬ男 乱菊の香は強い

T A R A



花寄せ第十七回

狗尾草

ネコジヤラシ 仲直りするタイミング

T A R A

片付かぬ不良債権ネコジヤラシ

暁兵

エノコログサ (狗尾草)

イネ科

学名: *Setaria viridis*

別名: ネコジヤラシ (猫じゃらし)、

エノコロ、エノコグサ

英名: Foxtail, Bristle grass

野原や空き地、道端のついでに見られる雑草。

「狗(エノコ)」は子犬のこと。

「ロ」は「尾(お)」のなまったものです。



花寄せ第十八回

山茶花

風化させましょう

赤いサザンカを手向けて

TARA

キヤメリアササンクワ

想いを散らす

心太

山茶花や馴染みの客も顔だけで

兎角

山茶花や居ぬ間に咲いてくれたのかい

暁兵

常緑の葉の中山茶花守られて

湧

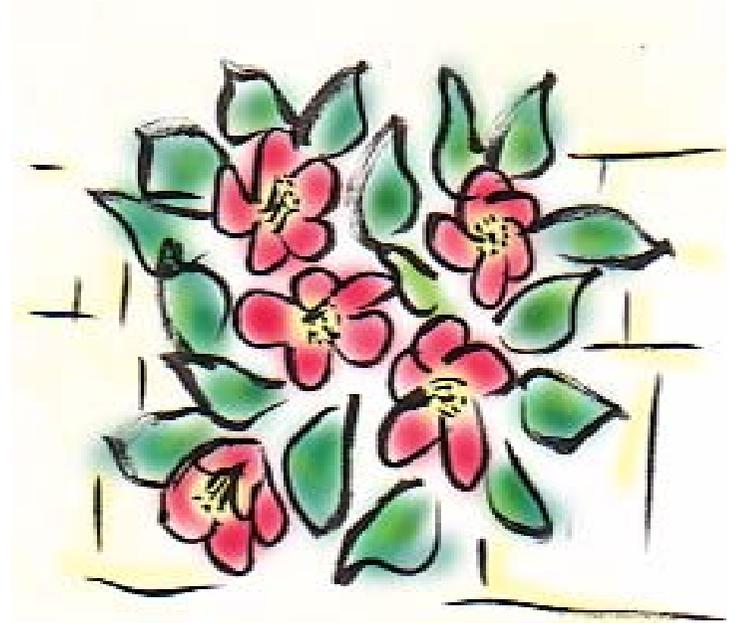
サザンカトマツテ丸

オジヤラ

雪の下 山茶花の花 甘している

映

サザンカ（山茶花）
ツバキ科
学名
Camellia sasanqua
花期：冬
十一月から十二月、色のない
初冬に、赤・ピンク・白の山
茶花が次々咲きます。
サザンカとツバキはよく似
ています。ツバキの花は落ち
るときにボテツと全部一緒
に落ち、サザンカは花びらが
一枚一枚ばらばらに散りま
す。



花寄せ第十九回

椿



ツバキ(椿)
ツバキ科
学名: Camellia japonica
英名: camellia
十二月から三月にかけて開花。果実からは食用油がとれ、伊豆の大島は有名。
花の形のまま落花するのモ特徴の1つ。

寄る冬陽 椿の我慢

舗道の流れ弧にして落ち椿

拾つて拾つて拾つて椿果てず

鶴首や椿手折らば聞こえまし

落ち椿猫が猫を追いかける

紅椿水に浮かべて花を愛で

落ち椿それでも椿認めたり

生垣の椿の色のはんなりと

花ぽとり落ちて哀しき紅椿

信楽の狸の頭落ち椿

咲き乱れ緞帳みたい紅椿

絶ち難し 椿ぽとりと

落椿 夢で交じわる

椿をあたまに飾った子が笑ってくれたよ

T A R A

響

響

兎角

暁兵

映

映

映

映

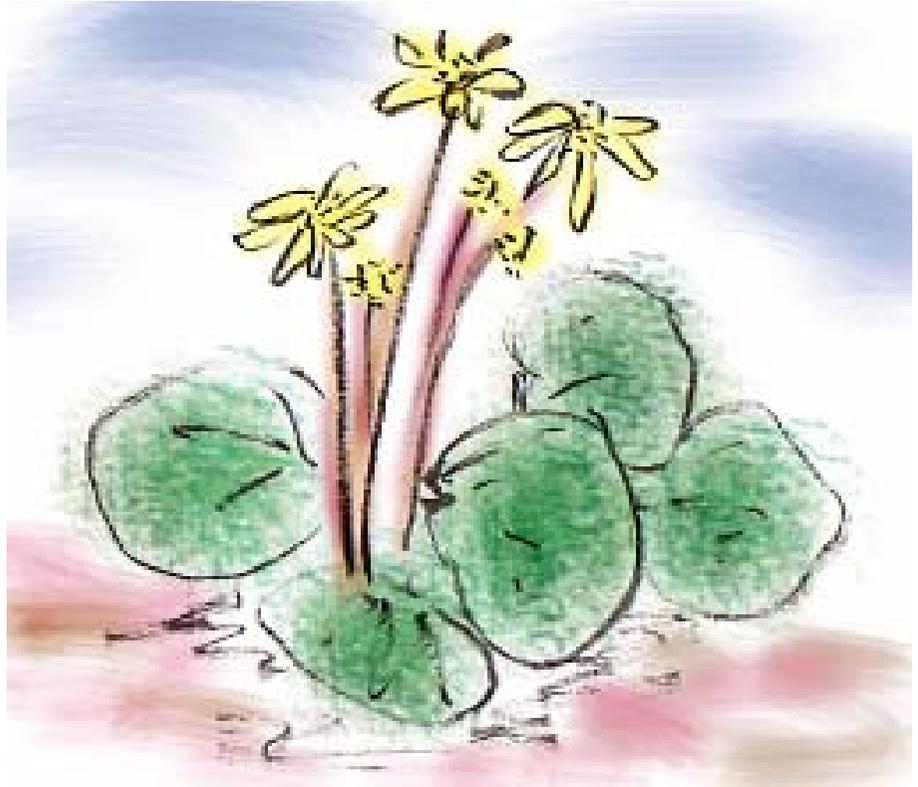
映

映

心太

心太

オジャラ



花寄せ第二十回

つわぶき

薄墨の英虞湾 石露だけが黄色い

TARA

かつぽれを踊ってみようか石露の花

暁兵

つわぶきや深き溝のあるを知る

心太

つわぶきのやぶにつけとめてくれるよ

オジャラ

つわぶきのやぶにはるかぬ

心太

独占と遮断 つわぶきの勝利

オジャラ

流れ流れて摘む石露の花

兎角

ツワブキ (石露)
キク科
学名: *Fartugium japonicum*
別名: 石露 (つわ) の花
名前の由来は、「葉に艶のある
露」だとか。
十一月、十二月に黄色い花を
つけます。
通常、海辺や海岸の岩の上な
どに育ち、庭先に植えられて
いるのもよく見かけます。

鬼づゝし

捜してください 私を捜してくれる鬼を 心太

きびだんご鬼ヶ島でも売らうしい 兎角

鬼と呼ばれて羅刹のくくる腹 兎角

泣き虫や渡る世間の世迷い言 兎角

ミサイルも戦車もありて鬼づつこ 暁兵

疾く暮れる部屋の鏡や修羅の顔 こだま

鬼ばかりと知った夜だ 鮎をぶち切る 心太

鬼に食わそが情 (じょう) 無き廿は 心太

鬼や無いからできん 吸血鬼の戯言 兎角

鬼の住むところ すなほなり オジャラ





花寄せ 第三部

葉牡丹

葉牡丹 ころもりの憂鬱 晶

バテレンの祈り葉牡丹遠霞む

兎角

入ってごらん

葉牡丹のつらくタル

TARA

ずっとキャベツだと信じてた

路地裏の葉牡丹

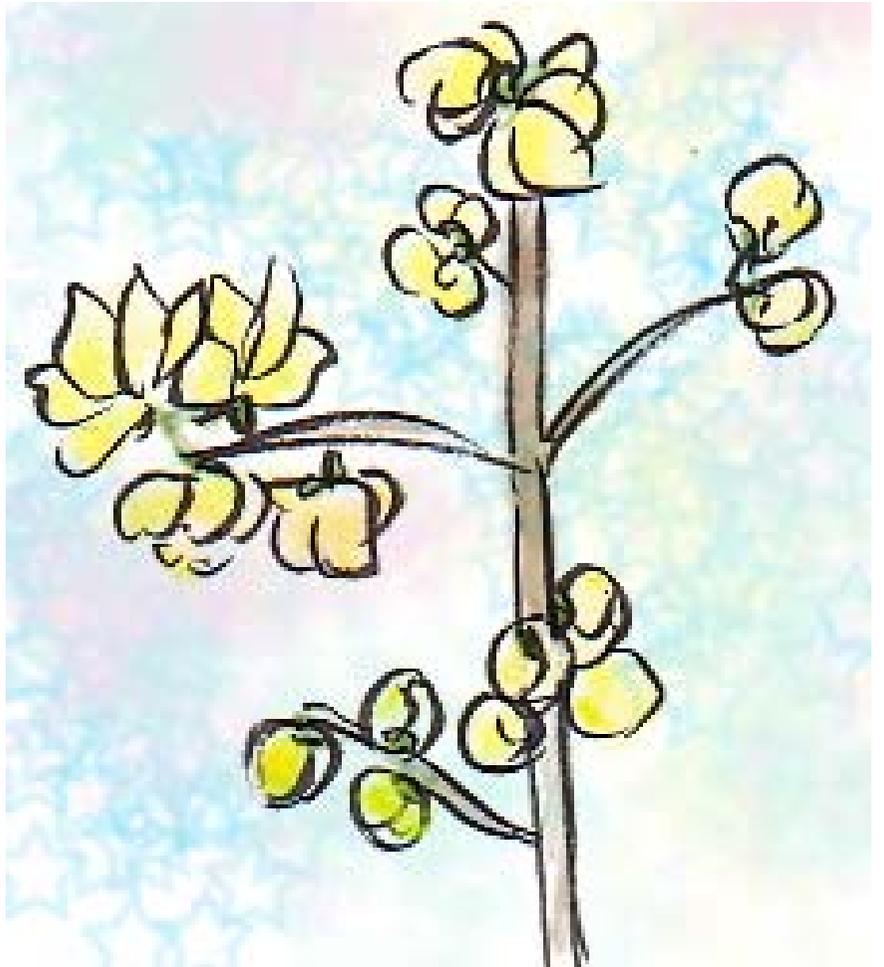
オジヤラ

葉牡丹やよつやく収斂でききつな

暁兵



ハボタン(葉牡丹) アブラナ科
学名: Brassica oleracea var. acephala
花期: 春
冬の花壇の代表。門松の材料としても使われます。



花寄せ第二十二回

蠟梅

蠟梅の不意の休符に	戸惑う	TARA
蠟梅や切なき肌に触れるごと	心太	
蠟梅や消しゴム壁に投げてみる	暁兵	
蠟梅や昭和は遠くなりけり	兎角	
蠟梅や母にも恋はあつたるか	暁兵	
もつ見ることもないるうばい	オジャラ	

ロウバイ (蠟梅)
 るつばい科
 学名:Chimonanthu
 別名 カラウメ
 (唐梅)
 2m~4mくらいの
 木。
 12月~2月に
 蠟細工のような、
 とても香り
 のよい花を
 咲かせます。
 学名は「冬の花」
 という意味。



花寄せ第二十三回

冬 薔 薇

曖昧な肌色さらす冬の薔薇

T A R A

冬薔薇 あからさまではいけない

T A R A

冬薔薇色に変わりはないじやなし

兎角

老夫婦の柔らかき黙冬薔薇

暁兵

寒風に晒されるがいい冬薔薇

響

凍る空に一人立つ冬薔薇

オジャラ

冬薔薇忘れていた歌が

心太

月と交信する冬薔薇

T A R A

バラ (薔薇)
バラ科
学名 : Rosa centifolia L.
バラは、5月と10月の2回、最盛期を迎えますが、四季咲きバラは、耐寒性もあるもので、真冬にも花をつけます。
特別に、寒薔薇(かんばら) 冬薔薇(ふゆさつび)と呼ばれます。



花寄せ第二十四回

水仙

毒も棘もいらぬ ナルキツサス

T A R A

嫉妬とふ言葉を知るや水仙花

暁兵

水仙 風の強い岬だ

心太

水仙の俯いている火が足りぬ

兎角

畳んで丸めて水仙ぽいと投げ

兎角

水仙になつてくれるな百合根つこ

兎角

水仙は頭でつかち何頭身

映

雪折れの水仙 君のリアリティー

T A R A

水仙を活ける母の笑顔

オジャラ

スイセン(水仙)
ヒガンバナ科
学名:
Narcissus spp.
英名: Narcissus
中央ヨーロッパ、
地中海沿岸、中国
日本と広く分布。
日本では、暖地の
海岸に芳香の強い
日本房咲スイセン
が自生している。



花寄せ第二十五回

シクラメン

慣習規範シクラメン

T A R A

シクラメン独身寮の窓

心太

シクラメン空はこんなに広いのに

暁兵

焼け落ちてまだ残り火がシクラメン

兎角

いつまでも布施 明がシクラメン

映

ちひさくさひたきよねんのシクラメン

オジャラ

なにもかも忘れたはずでしょシクラメン

晶

別れ話傍で聞いてたシクラメン

映

シクラメン
サクラソウ科
学名：Cyclamen
persicum
和名：カガリビバナ
(篝火花)、
フタマンジユウ(豚
饅頭)
上手に育てれば、1
2月から4月まで
花が楽しめます。色
は赤・ピンク・白・
複色まで豊富。



花寄せ第二十六回

シンビジウム

母の死のシンビジウムに滲む液

T A R A

花の死をみたいのです

シンビジウムたくさんください 心太

覚めない夢シンビジウム厭々

響

シンビジウム 通勤の木枯らし

兎角

踵を返してしまったシンビジウム

暁兵

シンビジウム 母が咲かせてくれた

オジャラ

シンビジウム ラン科
学名…Cymbidium SWARTS.
インド、ビルマ、ベトナム一帯の山地に自生。
比較的低温にも強く、花期も長いので、
冬の鉢花としてシクラメンと人気を二分する。
花色は、桃、白、黄、緑、赤褐色など変化が多い。



花寄せ第二十七回

梅

梅林の人波に揺れワープする

TARA

産院へ回り道なり梅香る

暁兵

速達は幸も不幸も梅の花

響

三分咲き五分咲き七分咲き 梅の見ごろ

心太

子午線をまたいで咲くや梅の花

心太

男坂 梅の陰を踏んでゐる

オジヤラ

床上や先づ紅白の梅の際

氷心

梅の花香りを放ち誘惑す

映

梅の空うなじくすべる細い影

兎角

ウメ (梅) バラ科
 学名 Prunus mume
 白梅は2月上旬から、紅梅は2月下旬くらいから咲き始めます。一重・八重・枝垂梅(しだらうめ)・臥龍梅(がりゅうばい)など、大変種類も多い。
 いけばな、盆栽などでは美しい枝ぶりで見せま



花寄せ第二十八回

沈丁花

「Re..沈丁花」ありがとう

TARA

死ぬ稽古少しはできたか 沈丁花

心太

白い絵の具の匂いに溶けてゆく沈丁花

オジヤラ

なきぼくる見返り坂の沈丁花

氷心

沈丁花思わず息を深く吸ふ

暁兵

秘密を甦らせる夜の沈丁花

響

沈丁花初恋はかく咲きゆきて

兎角

ジンチヨウゲ
(沈丁花)
ジンチヨウゲ科
学名：Daphne
odora
別名：千里香(せん
りこう)
花期 2月～3月
外側が深紅色で、内
側が白の萼が、4裂
に開きます。
沈丁花は香料の沈
香(じんこう)と丁子
(ちようじ)の2つを
合わせたほど香り
がよいという意味。



花寄せ第二十九回

ミモザ

秘密明かす笑みも秘密のミモザ色

TARA

思い浮かばず ミモザの香り

オジヤラ

青空にミモザの梢恋終わる

暁兵

高城にミモザあふるる隣家かな

氷心

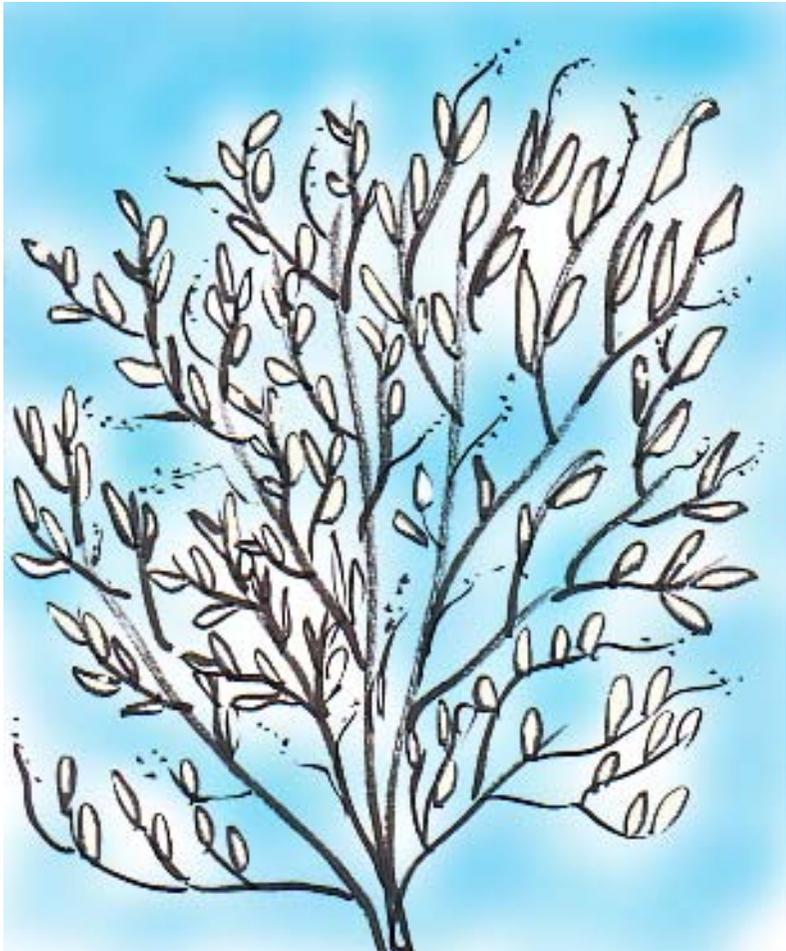
ミモザ一輪に泣く

兎角

ミモザ メン科 学名 *Acacia baileyana*

英名 *Cootamunda wattle*

別名 ミモザ、ギンヨウアカシア（銀葉アカシア）、花アカシア。2月の終わり頃から3月いっぱいまで、黄金の花をつけます。フランスのカンヌでは、3月にミモザの「花祭り」があるそうです。



花寄せ第三十回

木蓮・辛夷

眠れぬ夜 白木蓮のむくみおり

T A R A

白木蓮 風が通らぬ壁がある

T A R A

黒き木の心根噴きだせ白木蓮

晶

白木蓮花びら一枚恋の文

映

ちりりん辛夷の風が微笑んだ

氷心

木蓮 青い絵の具で空を塗ってる

オジヤラ

もくれんと会話はあるか伎芸天

暁兵

白木蓮三二モ二響く煙い部屋

兎角

白木蓮線路向いに少年院

心太

モクレン (木蓮)
モクレン科
学名・Magnolia
denudata
コブシ (辛夷)
モクレン科
学名・Magnolia
kobus
花期は3月～4月。大
きめの花がモクレン。
紫はシモクレン(紫木
蓮)、白はハクモクレ
ン(白木蓮)。
よく似た小さめの白
花がコブシ。



花寄せ 第四部



花寄せ第三十一回

馬酔木

陽に揺れる馬酔木の群れに笑われる

T A R A

馬酔木 さ・よ・な・ら・さ・よ・な・ら

T A R A

うねる前照灯さ迷へる馬酔木

氷心

宗教の白さが馬酔木房となり

兎角

このなりで毒を持つとか馬酔木咲く

心太

馬酔木のやぶなせだと

言はれたことがある

オジヤラ

アシビ(馬酔木)
ツツジ科
学名:Pieris japonica
花期:3月~4月
別名:あせび
常緑低木。花はつぼみ状で白・ピンクなど。
有毒植物で、呼吸中枢の麻痺をおこすといわれる。

雪柳

酢酸の匂ひおこさす雪柳

氷心

雪柳絵の具の厚きルオーの絵

暁兵

雪柳 振り返らない方がいい

TARA

MATRIX真似る子さらさの雪柳

兎角

今少し隠してくださいコゴメバナ

心太

待ち合わせの場所 雪柳と待つてゐる

オジヤラ



コキヤナギ (雪柳)
ばい柳

学名:Spiraea thunbergii
別名:コゴメバナ(小米花)、
コゴメヤナギ(小米柳)
落葉広葉樹の低木。枝は細く、広がって株立ち、先端は下垂する。
花期は3〜4月、葉に先立って散房状に小白花をつける。



花寄せ第三十三回

いぬぶぐり

いぬぶぐりを花嫁草と教えてくれるひと TARA
日溜りに触れてはならぬ犬ぶぐり 氷心
集団下校 いぬぶぐりの呼び声 兎角
いぬぶぐり泣きたい時は泣けばいい 暁兵
いぬぶぐり隣の噂つこと乳練り台つて 心太
抜いても抜いてもいぬぶぐり オジャラ

イヌフグリ
ゴマノハグサ科
学名： *Veronica persica*
Poir.
英名 Bird's-eye
道端に普通にはえる越年草。
3月～5日に5mm程の花を
つける。
正式には オオイヌフグリ
(犬犬の陰囊) という名前。

桜

抑制 桜 私は弱い

T A R A

想いつつ重ねる歳の幾重か
も知らずで桜は今宵満開

こだま

桜天が動いた 氷心

空青々桜万朶ひと時少年

響

桜咲く UFOは愛です

心太

古りし寺人気なければ桜咲く

暁兵

雪月花さみしい順にはな、つき、ゆき

晶

桜前線 カレンダーは二月のまま

オジヤラ

透き通る手のひら過ぎてまだ桜

兎角

マニキュアの色も桜に変えました

映

咲いても桜 散っても桜

映

サクラ(桜)

バラ科

学名: Prunus





チューリップ

ユリ科

学名・*Tulipa gesneriana*

春の花壇の代表。色も形も
(絞り、八重咲き、フリル、
枝咲きなど)さまざま。

花寄せ第三十五回

チューリップ

チューリップ シュミレーションのない始まり

T A R A

チューリップロングブーツが立ち止まる 暁兵

わたくしも小首かしげてチューリップ 氷心

夢はまだ花びら欠けたチューリップ 兎角

夢欠けたチューリップ背筋から香る はぎ

プランターいっぱいに咲いたチューリップを摘み

オジヤラ



花寄せ第三十六回

諸葛菜

諸葛菜 ためらわないで居ればいい

TARA

諸葛菜バブル弾けて十年余

曉兵

諸葛菜やわらやわらとなびきおり

氷心

スミシ菜バイオレットに

クリムソンを混ぜてみる

オジャラ

花だいこん

はたらきもんの小娘よう笑いよる

晶

花だいこん ご希望は承りました

心太

シヨカツサイ(諸葛菜)アブラナ科 学名:Orchophragmus violaceus

別名 ムラサキハナナ(紫花菜)、ハナダイコン(花大根)、オオアラセイトウ(大紫羅蘭花)、スミシナ(すみれ菜)

花期は3月〜5月。背丈20〜50cm。中国からの帰化植物で日本各地に野生化しています。名前は三国志の諸葛亮(じよかつりよ)が出陣先でこの種子をまいたことから。



花寄せ第三十七回

藤

藤棚の蜂の羽音に囲まれる

TARA

藤の花頂垂れる心地よさ知るや

暁兵

ふじのしたぶりかえればほほえみ

心太

藤棚の孔雀の檻は破られし

心太

薄紫の波の下を歩いてゐる

オジヤラ

咲いて藤のしたたか

TARA

山肌の深き翳りや藤の花

氷心

フジ(藤) マメ科
学名・Wisteria floribunda
花色は、藤色・白・青・桃色。
栽培されるのはほとんどノダ
フジで、つるは右巻き。



花寄せ第三十八回

ツツジ

躑躅満艦飾の漠漠

T A R A

躑躅咲く通勤も通学も急ぎ足

曉兵

何から話そう 躑躅の四阿

心太

ビル街のつつじ不揃いに咲いていく

響

ツツジのお山でお池に落ちてしまったよ オジヤラ

ツツジ（躑躅） ツツジ科
学名: Rhododendron
サツキ（阜月）、オオムラサ
キ（大紫）、ヤシオ（八染）、
ミヤマキリシマ（深山
霧島）など、種類によって、
呼び方も豊富。
ドウダンツツジ（満天星躑
躅）は、小さなスズランのよ
うな花。



花寄せ第三十九回

スイートピー

スイートピー ぶきつちよの泣きべそ T A R A

スイートピー

ブランダで手を伸ばしてた オジャラ

少女の胸隠すスイートピーのつりル 響

スイートピー マメ科

学名：Lathyrus odoratus

別名：カオリエンドウ (香豌豆)、

ジャコウレンリソウ (麝香連理草)、

ジャコウエンドウ (麝香豌豆)

地中海シチリア島が原産。葉先の巻

きひげで、支柱にからみつきます。

甘い (スイート) 豆 (ピー) の名の

通り、甘い香り。



花寄せ第四十回

芍薬

芍薬 こわれあぶれて差し上げましょう TARA

牡丹と間違えてゐる オジヤラ

シヤクヤク(芍薬) ボタン科
学名…*Paeonia lactiflora*

千ベツト―中国―朝鮮半島に自生する宿根草。
根を薬用にするために栽培され、現在は多数の品種が観
賞用に楽しまれている。花期：5―6月



花寄せ 第五部



花寄せ第四十一回

山法師

山法師億のひとりの辻の仰ぐ

T A R A

山帽子 顔をのぞきこみたくなる

オジャラ

山法師隠すものなど何もなし

お嬢

些かの小手の陰より山帽子

氷心

山法師古（ふ）りし書簡を整理する

暁兵

ヤマボウシ（山法師・山帽子）
ミズキ科
学名：Cornus kousa
別名：ヤマブワ（山桑）
4月に咲くハナミズキと似て
いますが、花（本当は総苞片）
の色が白のみで5月〜
6月新緑と共に咲きます。
白い花弁を頭巾、真ん中の蕾
を坊主頭に見立て、名がつき
ました。
街路樹として植えられている
こともあります。



花寄せ第四十二回

あやめ

ジャーマンアイリス 弁証法的論理学 TARA

ゴツホの絵のやぶに咲いているアイリス オジヤラ

背伸びしてくちびるかさね杜若 氷心

杜若徒なる男詠み込みて 心太

杜若徒なる男のから衣 心太

杜若湧き水軽やかに走りけり 暁兵

アヤメ(菖蒲) アヤメ科
学名・Iris sanguinea
花期：5〜6月
アヤメ(菖蒲・文旦)、ハナシヨウブ(花菖蒲)、カキツバタ(燕子花・杜若)など、どれも似ているので、アヤメの仲間でお好きな花を、自由にどうぞ。



花寄せ第四十三回

紫陽花

紫陽花を折り込む雨の降りる

T A R A

乾く紫陽花 喪服の雄ども

T A R A

逞しい街です紫陽花まん丸

響

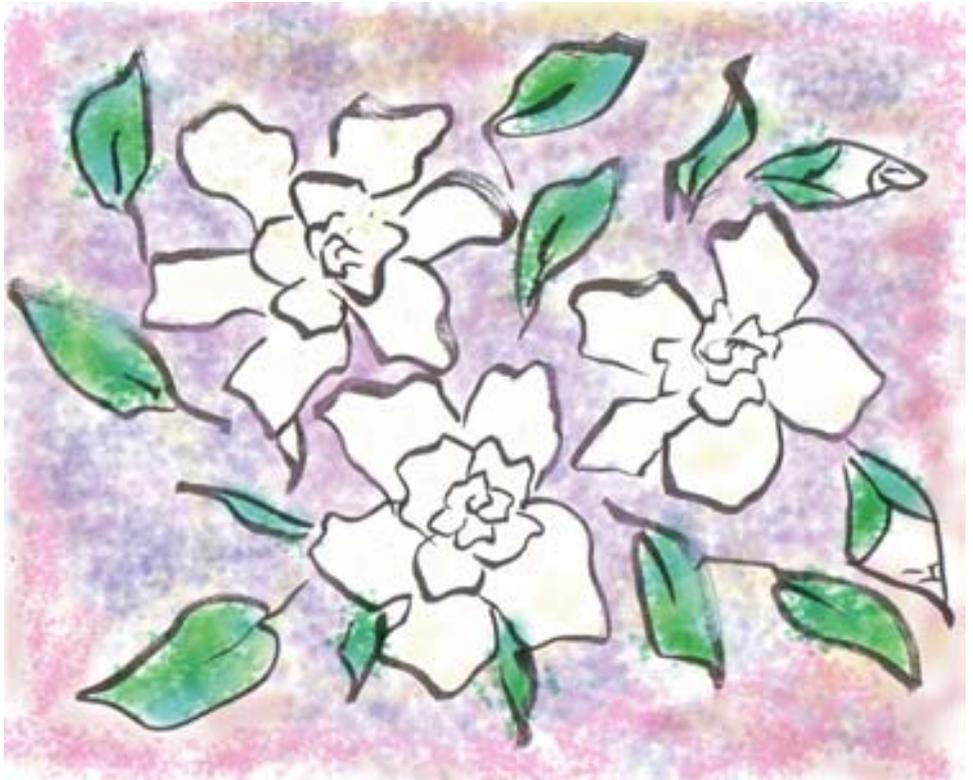
紫陽花の鉢に石灰を混ぜてゐる

オジヤラ

紫陽花やちやつごとのめの憂そのかと

氷心

アジサイ(紫陽花)
ユキノシタ科
学名: Hydrangea
macrophylla
花期: 6月
別名: シチヘンゲ(七変化)
花色は酸性土で青、アルカリ
性土で赤くなるといわ
れています。
ピラミッド・アジサイ、カ
シワバアジサイ(柏葉紫陽
花)、ミナツキ(水無月)、
ガクアジサイなど、いろい
ろな形もあります。



花寄せ第四十四回

梔子

今日だけの梔子 今日だけの私

T A R A

雨だれや梔子にほふ軒にをる

氷心

梔子や想いを呑みこんだ日の

夜

梔子や締め付けてくる血圧計

暁兵

くちなし あぶらむしをあつめている

オジャラ

梔子 曲馬団の女

心太

夕暮れ誘惑くちなしと遊ぶ

響

くちなし 黙っていてもばれているのよ

晶

くちなしの葉の裏の色真似てみる

兎角

クちなシ（梔子・梔）
アカネ科
学名：Gardenia jasminoides
英名：ガータニア
花期：6月
日陰でも育つ常緑低木。梅雨どきに、一重や八重の、香りの強い花をつけます。実が裂開しないので「口無し」と呼ばれます。
梔子の実は、正月のきんとんを煮るとき、鮮やかな黄色にするため使われます。



花寄せ第四十五回

鉄線

焼き締めの水にくぐらす鉄線花

TARA

風車も咲かぬ夏

オジャラ

花の名は風車とが 2・1・0・2側の

心太

飾り窓のクレマチス うす紫

響

人群れのとだえて白き鉄線花

氷心

口惜しや学級閉鎖や鉄線や

兎角

テッセン（鉄線）
 キンポウゲ科
 学名：Clematis florida
 別名：クレマチス、カザグルマ（風車）
 花期：5月～6月
 つるが鉄線のように強いので、テッセンと呼ばれます。
 テッセンは中国から渡来種、カザグルマは日本の自生種、クレマチスは園芸品種としての総称です。
 近年の品種改良により、色・形も豊富で、花期も長くなっています。



花寄せ第四十六回

立葵

立葵 あやまつちやダメ

T A R A

せんろわきのたちあおいに見られている

オジャラ

泣き虫少女葵を見上げている

響

ももいる葵空に浮んでいる

響

心臓の毛がまた伸びて立葵

氷心

立葵ぽん菓子ポンつとぶくらんだ

兎角

月曜の朝の 立葵

夜

立葵子供は多いほどいいな

暁兵

若き日の母の紹咨葵咲く

響

もうすぐお盆たちあおい順々に

響

タチアオイ (立葵) オイ科

学名: *Alcea rosea*

アオイ科の植物はいろいろあるが、俳句で「葵」といった場合、「立葵」を指すことが多い。

高さ1m 2m。花期は初夏から秋までと長い。花は八重、一重、赤、白、ピンク、紫など多彩。



花寄せ第四十七回

凌霄花

凌霄花 まだ隠れていきましょう

T A R A

忘れることだけ得意になりました

ノウゼンカズラ

心太

左下32度向き眉を掻く

ノウゼンカズラ

兎角

遠賀川凌霄花夏の霜

兎角

招くか追つか のうぜんかずら

夜

のうぜんが空に手を伸ばしている

響

雲に生けるノウゼンカズラオレンジ

響

ひとりでに口笛のフーガ凌霄花

氷心

夕焼けがこぼれ落ちたり凌霄花

晶

ノウゼンカズラ (凌霄花)
 ノウゼンカズラ科
 学名・Campsis randiflora
 花期：6月 8月
 蔓性の植物で、建物の塀や他の木に絡み、オレンジ色の花をたくさんつけます。

ザクロ(石榴) ザクロ科
学名:Punica granatum
花期:6月-7月
落葉小高木。果実を食用とするが、朱色の花が美しく、日本では観賞用に栽培されます。
八重咲きのヤエザクロや、小型のヒメザクロなどがある。

花寄せ第四十八回

石榴

まだ話すな花柘榴

心太

花石榴 なかつたことにしたいけど

TARA

石榴の実ひとつぶ食べては待っている

夜

子供らの声消えた川花石榴

兎角

器量良しに育てよ花石榴

兎角

ハナザクロはなざくると唱える徹夜明け

兎角

石榴咲く台風の目は往きすぎぬ

兎角

花ざくるたわむれるのもいいもんだ

氷心

『これがざくろの花だよ』と

きみが教えてくれたつけ

オジャラ

花石榴今日も便りは来ない

暁兵





花寄せ第四十九回

百合

ユリ(百合)
ユリ科
学名・Lilium spp.
英名・Lily
ヤマユリ(山百合)、テッポウ
ユリ(鉄砲百合)、スカシユリ
(透百合)、オユリ(鬼百
合)、ヒメユリ(姫百合)、ササ
ユリ(笹百合)、カノユリ
(鹿の子百合)、タケシマユリ
(竹島百合)、カサブランカ、
ルレーブ、
種類がとももあり、色・形・香
りもさまざまですので、自由
にお寄せください。

百合の香 近づき過ぎた後悔

響

痛みのごちそう ササユリの睡眠

T A R A

百合の染み 手折りましたね

響

眠らねば 百合の匂い

心太

したたかに生きられるものか 百合咲いて夜

谷間のゆり だまっているのは

泣いているからです

晶

我もまた百合を手折りの苦吟かな

兎角

百合が咲いている 咲いている

兎角

去年より百合 ちよつと小さめに

咲いてくれたよ

オジャラ

百合の花近づき難いもの

暁兵

うつろ手のかサブランカを言い当てる

氷心



花寄せ第五十回

向日葵

向日葵 一升とぐ米のぬくもり

TARA

ひまわり シュークリームぶんらんだ

兎角

錆びた鉄階段 向日葵の日々

兎角

肩落とす向日葵の背中にシヤワ

兎角

プール覗いてるひまわり笑ってる

響

ひまわり咲いた田舎へ帰ろう

響

ひまわり 白い帽子を見送っている

晶

ひまわり 散知れぬ十字架の物語

夜

ひまわりをかざしてホームの別れかな

心太

ちひさなひまわりも たねをつけている

オジャラ

記念写真っっのひまわりをいつかまた

兎角

ひまわりやぶツホといつ絵描きの人生

暁兵

ひまわりの向きをきいて活けにけり

氷心

ヒマワリ (向日葵) キク科
学名・Helianthus annuus
英名・sunflower
別名・ニチリンソウ (日輪草)、
ヒグルマ (日車)、テンガイバ
ナ (天蓋花)
アメリカ西部が原産。世界各
地で栽培され、搾油用・スナ
ック用に種を収穫します。
黄色い花の大輪が一般的です
が、園芸用に、八重咲きヒマ
ワリ、姫ヒマワリ、黒ヒマワ
リ などもあります。

【投句者一覧】 投句名 (メールアドレス) URL

起案、投句スペース提供 **笹心太** (tokoroten@sasa.org) <http://www.sasa.org/>

花選び **TARA** (BRB11160@nifty.ne.jp) <http://homepage1.nifty.com/TARAPHOTO/>

イラスト・編集 **オジャラ** (rica@ojara.net) <http://www.ojara.net/>

投句者一覧、『花寄せ』投句順

暁兵 (gyohei@mb.rosenet.ne.jp) <http://www2.rosenet.ne.jp/~gyohei>

登美子 (tonchan@cty-net.ne.jp)

はぎ (k-hagi@geocities.co.jp) <http://khagi.tripod.co.jp/>

兎角 (lepuscornu@bigfoot.com) <http://snow.prohosting.com/lepuscor/>

氷心 (hyousin@mb.infoweb.ne.jp) <http://village.infoweb.ne.jp/~tyusian/>

紫苑 (kokorohaiku@hotmail.com) <http://homepage1.nifty.com/mhcsion/index.html>

こだま/響 (takahaci@seaple.icc.ne.jp) <http://www.seaple.icc.ne.jp/~takahaci/>

湧 (u355gold@hotmail.com)

映 (niichan@ma.mni.ne.jp)

晶 (28niwa@mx10.ttcn.ne.jp)

お囃 (cay78890@pop02.odn.ne.jp) <http://www.geocities.co.jp/Bookend-Akiko/3296/>

夜 (mayo_31_f@tranzas.ne.jp)

おじやら・ねつとの本



花の俳句集

心太俳諧通信

花寄せ（PDF版）

発行日 二〇〇二年十月十四日

監修 笹心太

テイシクター TARA

表紙・挿絵 おじやらりか

発行元 心太俳諧通信

〒六九三・〇八九四

明石市港町4-1

宗田マンション16号

E-Mail: tokoroten@sasa.org

<http://sasa.org/>

発行所 有限会社 おじやら

〒一一〇・〇〇三四

東京都足立区千住四・七・六

E-Mail: rica@ojara.net

<http://www.ojara.net>

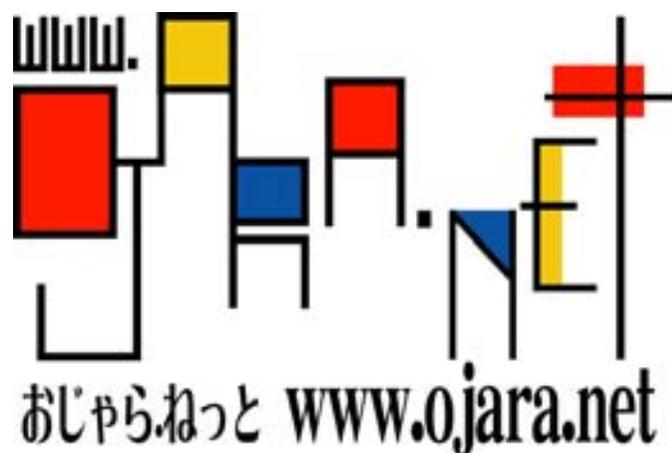
図書コード ISBN4-901941-06-2

0892-¥0000E

許可無く転載・複製を禁じます。

お気づきの個所がございましたら、ご面倒様でも、

E-mailにてお知らせください。よろしくお願ひ致します。



<http://sasa.org>
心太俳諧通信

ISBN4-901941-06-2

C0892-¥0000E